

平成28年度第3回岐阜県事業評価監視委員会
議事要旨

1. 日時：平成28年8月8日（月）10：00～12：00

2. 場所：岐阜県庁 7階 7北1会議室

3. 出席委員：岐阜大学 教授 工学部 八嶋 厚
岐阜大学 教授 総合情報メディアセンター 篠田 成郎
岐阜大学 教授 地域科学部 三井 栄
郡上森林組合 代表理事組合長 石田 五秀
岐阜県弁護士会 弁護士 福手 朋子
岐阜県農業協同組合中央会 専務理事 松永 政人
各務原商工会議所 会頭 柳原 幸一
一般財団法人 岐阜県地域女性団体協議会 理事 度会 さち子
公募 浅野 勝博
公募 名古屋大学 特任助教 大野 沙知子
公募 会社員 前川 利枝

4. 議事要旨署名委員の指名について

委員長が署名委員として篠田委員、福手委員、前川委員を指名。

5. 議事

再評価実施箇所の説明及び審議について

- ①農業農村整備事業：県営広域農道事業「飛騨東部」〔県事業〕
- ②農業農村整備事業：県営広域農道事業「郡上南部」〔県事業〕
- ③林道事業：公共林道事業「尾城山」〔県事業〕
- ④林道事業：公共林道事業「千田野～石徹白」〔郡上市〕
- ⑤林道事業：公共林道事業「野原」〔揖斐川町〕
- ⑥街路事業：街路事業「（都）岐阜駅城田寺線」〔県事業〕

6. 議事要旨

再評価実施箇所の説明及び審議について

- ①農業農村整備事業〔事業主体：岐阜県〕
 - ・審議事業：県営広域農道事業「飛騨東部」
 - ・説明者：農地整備課 河瀬課長

【審議】

浅野委員

2点質問します。1つ目は、費用対効果の算定に用いる費用には、国営施工や建設施工にかかる事業費も含んでいますか。また、効果額についてですが、営農に係る走行経費節減効果の算定は原単位を用いていると思いますが、車両の原単位の設定について教えてください。2つ目は、社会情勢の変化として、岐阜県でも、農業者の高齢化と担い手の減少により、耕作放棄地が増加する傾向にあります。現在、県の農業生産額が1千億円程度ですが、将来、この飛騨東部地域ではどのぐらいの農業生産額を想定していますか。

説明者（河瀬課長）

1点目の総費用については、当該事業及び関連事業であります国営施工、建設施工に係る事業費も含み、費用対効果分析を行っています。原単位に関しては、確認後、説明します。

2点目の、農業生産額の将来見込みについては、当課で算定はしていませんが、県では、担い手の育成を重要課題としています。農道事業の進度を早めることにより、農地集積が進み、将来の担い手確保につながります。事業完了後には、事後評価を行い、農道の効果の確認を行い、必要に応じて、関係部局と改善措置を検討していくこととしています。

（審議後に基準とした原単位について説明をした。）

浅野委員

耕地の約1割が耕作放棄地であると言われていています。農業総生産は、県内総生産の1%弱ぐらいですが、個人的には、もっと農業生産が増えてもいいと思っています。多くの事業費をかけている農道ですので、有効利用されることを期待しています。

説明者（河瀬課長）

農道等の基盤整備や鳥獣被害対策を一体的に進め、担い手を確保することにより、耕作放棄地対策を図っています。

八嶋委員長

本事業である農道整備は、生活環境の整備で「住みよい農村づくり」に貢献していますが、委員の質問である農業振興には、「多様な担い手づくり」、「売れるブランドづくり」を含めた3つが一体となった取り組みが必要になりますのでよろしくお願いします。

【審議結果】

事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

②農業農村整備事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：県営広域農道事業「郡上南部」
- ・説明者：農地整備課 河瀬課長

【審議】

前川委員

事業の効果の説明で、営農に係る走行経費節減効果と一般交通等に係る経費節減効果を見込んでいますが、営農と一般という目的別の交通量は、どのように把握するのですか。

説明者（河瀬課長）

現況の交通量を車種ごとに分類し判断しています。農道が新設された際に、車種がどう変化するか、例えば、今まで軽トラックで運搬していたのが6トン車で運搬できることになるということを想定して、効果額を算出しています。

石田委員

農道の起点は、せせらぎ街道から八幡斎場へ向かう道路ですか。

説明者（河瀬課長）

そうです。

福手委員

先ほど、審議しました飛騨東部地域ではトマト、ほうれん草が有名ですが、この郡上地域ではどのような農産物があり、生産規模はどのくらいですか。また、郡上旬彩館の売り上げはどのくらいあるのですか。

説明者（河瀬課長）

J Aめぐみの郡上地域での数値になりますが、平成26年度の農畜産物の出

荷販売額は約24億円です。そのうち、畜産が14億円弱、青果が9億円弱で、トマト、ほうれん草、だいこんが主の農産物となっています。道の駅全体で1億6千万円程です。

浅野委員

2点質問します。1点目はスライド5ページの事業の進捗状況の図面で、第1工区は、供用見込の記載がありませんが、当面は見込みがないということですか。2点目は、事業制度にかかる説明資料で、先ほど審議した飛騨東部と費用対効果分析の算定手法が異なっているのはなぜですか。

説明者（河瀬課長）

1点目の第1工区については、現時点では工事着工しておりませんが、平成29年度から工事着手できるよう進めています。2点目については、平成20年度に土地改良事業の費用対効果の手法について見直しがあったことによります。改善された算定手法は、効果と費用の発現時期が異なることを踏まえ、それぞれ現在価値化した総費用総便益比にて算定しています。平成20年度以降に計画または変更した地区に適用することとしており、当該事業は平成23年度に計画変更を行ったことから、新しい手法にて算定しています。

浅野委員

算定方法が見直されたのは、会計検査院からの指摘によるものでは。

説明者（河瀬課長）

算定手法が改善された背景は、近年の土地改良事業が、新設整備から更新整備へ大きくシフトしていることから、既存施設の更新による効果をより適切に評価できる手法にする必要があったことによります。

度会委員

関係者の意向の説明のなかで、意見交換会を開催しています、参加した女性からどのような意見があり、事業に反映されたか教えてください。

説明者（河瀬課長）

意見を性別ごとに整理していませんのでわかりませんが、参加者からの意見としては、冬期交通の安全対策についての意見がありました。

【審議結果】

事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

③林道事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：公共林道事業「尾城山」
- ・説明者：森林整備課 岩月課長

【審議】

松永委員

この地域での木材生産額はどのくらいですか。

説明者（岩月課長）

この地域での数値は、持ち合わせていませんが、県全体での木材の生産額は約55億円です。きのこ等の林産物を含めると約85億円になります。なお、この地域は県内でも木材生産が盛んな地域で、大きな割合を占めています。

石田委員

路網密度はどのくらいですか。

説明者（岩月課長）

この利用区域内の路網密度は、支線であります林道、作業道を含めると90路線以上ありますので、即答できませんが、路網密度はかなり高い地域になります。

石田委員

100m/h a以上ありますか。私の住む郡上市では、20数m/h aほどで、まだこれからだと考えています。

説明者（岩月課長）

この利用区域内では、そこまでにはなりません。この東白川村、中津川市加子母地域は、林業の盛んな地域ですので、林内の路網はしっかり整備されています。

八嶋委員長

東白川村や加子母地域は林業が盛んであることは理解していますが、県全体では、利用期を迎えた人工林は、適切に伐採し、木材として利用されていますか。利用時期にある森林が、利用されず放置されてはいませんか。

説明者（岩月課長）

県下全体では、徐々にではありますが、木材生産量は増加しています。県の森林は9から12齢級といった50年生前後の人工林が多くを占めており、資源が充実している時期にあります。そこで、路網の整備を行い、伐採し、木材として利用し、その後、植栽する継続性のある森林づくりを行っています。

【審議結果】

事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

④林道事業〔事業主体：郡上市〕

- ・審議事業：公共林道事業「干田野～石徹白」
- ・説明者：郡上市建設工務課 夕下課長

【審議】

浅野委員

スギが多い地域ですか。今後、10年以内に伐って利用できる森林が多くあると思います。しかしながら、このように林道や作業道を整備しても、作業をする従事者が高齢化等により減っているのではありませんか。現在は、ハーベスタなど林業用の機械がありますが、導入する計画はありますか。

石田委員

森林組合としては、平成23年度から積極的に木材を搬出するよう取り組んでいます。高性能林業機械は高額ですので、補助金を活用しつつ導入を進めているところです。したがって、今、基幹となる林道を整備することは重要だと考えています。

八嶋委員長

事業期間が平成33年度ということで費用対効果を算出しています。説明では、向こう5年間の開設計画でも、全体計画の半分にも至りません。その中で、平成33年度として再評価の費用対効果を算出することについて、どのように考えていますか。

説明者（夕下課長）

郡上市としては、現在、もう1路線開設しており、その路線は平成30年度に完了を予定しています。その後、この路線に予算を集中投資し、終点側からも開設を行うなど工区数を増やし、事業進度を高めていきたいと考えております。

【審議結果】

事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

- ⑤林道事業〔事業主体：揖斐川町〕
- ・審議事業：公共林道事業「野原」
 - ・説明者：揖斐川町農林振興課 長屋次長兼課長

【審議】

石田委員

計画図面を見ますと、等高線に沿った、比較的緩やかな線形としていますが、最急の縦断勾配をどの程度としていますか。

説明者（長屋次長兼課長）

7から8%程度としています。

篠田委員

人工林面積率が36%と比較的に少なく、人工林が点在する区域において林道を整備する場合、支線として作業道を密に入れることが、木材搬出の効率を高めることになると思います。現在、2路線の作業道計画がありますが、今後、それ以外にも計画を考えていますか。

説明者（長屋次長兼課長）

当面は、既設作業道の1路線と、計画している2路線で間伐予定地の整備が可能で、将来的には、他の人工林においても整備が必要になりますので、所有者の了解を得て、作業道を計画していきたいと考えています。

篠田委員

その将来にかかる便益は、費用対効果の算出に組み込んでいるのですか。

説明者（長屋次長兼課長）

今、計画している事業で費用対効果を算出しています。

八嶋委員長

林道、作業道に係る用地は取得しているのですか。

説明者（長屋次長兼課長）

林道及び作業道は用地の買収は行いません。所有者の方の土地使用承諾等の協力により開設しています。

【審議結果】

事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

- ⑥街路事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：街路事業「（都）岐阜駅城田寺線」
- ・説明者：都市整備課 岩田課長

【審議】

浅野委員

無電柱化は電線を地中化することだと思いますが、負担金はありますか。

説明者（岩田課長）

無電柱化の方法としては、地中化による方法と軒下配線などによる方法の2通りです。街路事業として地中化する場合、市から負担金、電線管理者の負担金や、国からの補助もあります。

浅野委員

自転車と歩行者の接触について安全対策は考えていますか。また、植樹は計画していますか。

説明者（岩田課長）

現状の歩道は2m程度しかないため、歩道を拡幅することで安全な通行幅員を確保する計画としています。現計画では歩行者と自転車の分離は考えており

ません。植樹帯を設けますとその分通行幅員が狭くなるため、現計画では設置は考えておりません。

八嶋委員長

費用対効果の算出方法について、費用は事業区間で算出し、便益は路線全体での効果を算出していますが、費用も路線全体を対象として算出するべきではないですか。路線全体となれば費用が増えるため、費用便益比が低くなると思いますが、どのように考えていますか。

説明者（岩田課長）

便益の算出方法は平成42年における将来道路ネットワークにおいて、当該区間以外の区間については整備済と仮定し、当該区間の整備のあり、なしの差で便益を出していますので、事業区間の費用を採用しています。

八嶋委員長

これまで説明された5事業については、住民等地元からの要望があるとの説明がありました。この資料にはその観点での記載がありませんが、官主体で事業を行っているということでしょうか。

説明者（岩田課長）

説明資料のとおり、当該区間北側の則武新田地区における組合施工の土地区画整理事業や市で行っている街路事業など、地域住民等関係者の具体的な協力のもと事業を進めていることを説明しています。

浅野委員

便益の算出方法について詳しく教えてください。将来交通量はどう予測するのですか。また、感度分析は行っていますか。想定している将来道路ネットワークは何年のものですか。

説明者（岩田課長）

（算出方法及び将来交通量の予測方法について説明）

残事業の費用対効果分析に際しても感度分析は行っています。将来道路ネットワークは平成42年としています。

【審議結果】

事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

《意見》今後、再評価の審議案件においては、再評価時の費用便益比のほか、計画時の費用便益比も示し、説明すること。